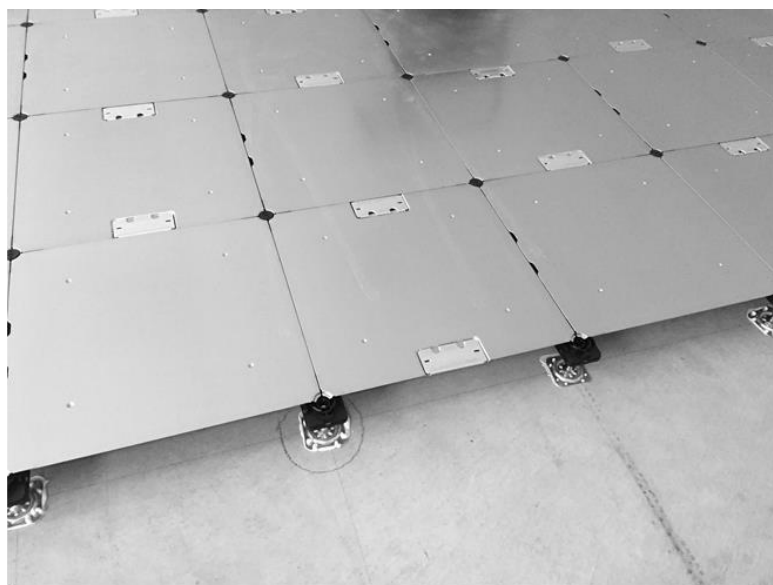


フクビ
OA フロア FP5000
施工要領書



【目次】

フクビ OA フロア FP5000 は、金属製支柱とウッドコアスチールパネルとの構成で快適な歩行感を生み出し、また耐荷重性・耐衝撃性・燃焼性・加工性に優れたレベル調整タイプのスチール系 OA フロアです。

パネルの通線口から配線をスムーズに取り出せ、より快適なレイアウト変更にも柔軟に対応します。

この施工要領書は、快適な OA フロアを維持するに当たって、施工の際には是非守って頂きたいこと、実施して頂きたいことをまとめたものです。

1.OA フロア FP5000 の構成と仕様

1-1 OA フロア FP5000 の部材構成……P2

2.材料

2-1 部材……P3

2-2 オプション部材……P3

2-3 副資材(接着剤、皿ビス、付属品)……P4

3.OA フロア FP5000 床高さ調整範囲

3-1 支柱高さ調整範囲(床下配線スペース)……P5

3-2 床下地高さ調整範囲(パネル 20mm 天端までの高さ調整範囲)……P5

3-3 床仕上げ高さ調整範囲(タイルカーペット 6.5mm 天端までの高さ調整範囲)……P5

4.施工手順

4-1 施工前の準備と確認……P6

4-2 墨出し……P6

4-2-1 片側の壁面から割付する場合……P6

4-2-2 部屋の中心から割付する場合……P6

4-3 不陸の測定……P6

4-4 支柱のレベル出し……P7

4-5 支柱の接着……P7

4-6 パネルの設置と調整……P8

4-6-1 パネルの設置と調整……P8

4-6-2 パネルの方向性……P9

4-7 端部パネルの設置と調整……P10

4-7-1 補助支柱の設置……P10

4-7-2 補助支柱のレベル出しと接着……P10

4-7-3 カットパネルの製作……P10

4-7-4 端部の納まり例……P11

4-7-5 出隅部の納まり例……P12

4-8 支柱とパネルの固定……P13

4-8-1 交点支柱とパネルの固定……P13

4-8-2 補助支柱と端部パネルの固定……P13

4-9 上がり框の取り付け……P14

4-10 自主検査……P14

4-11 仕上げ材の施工……P14

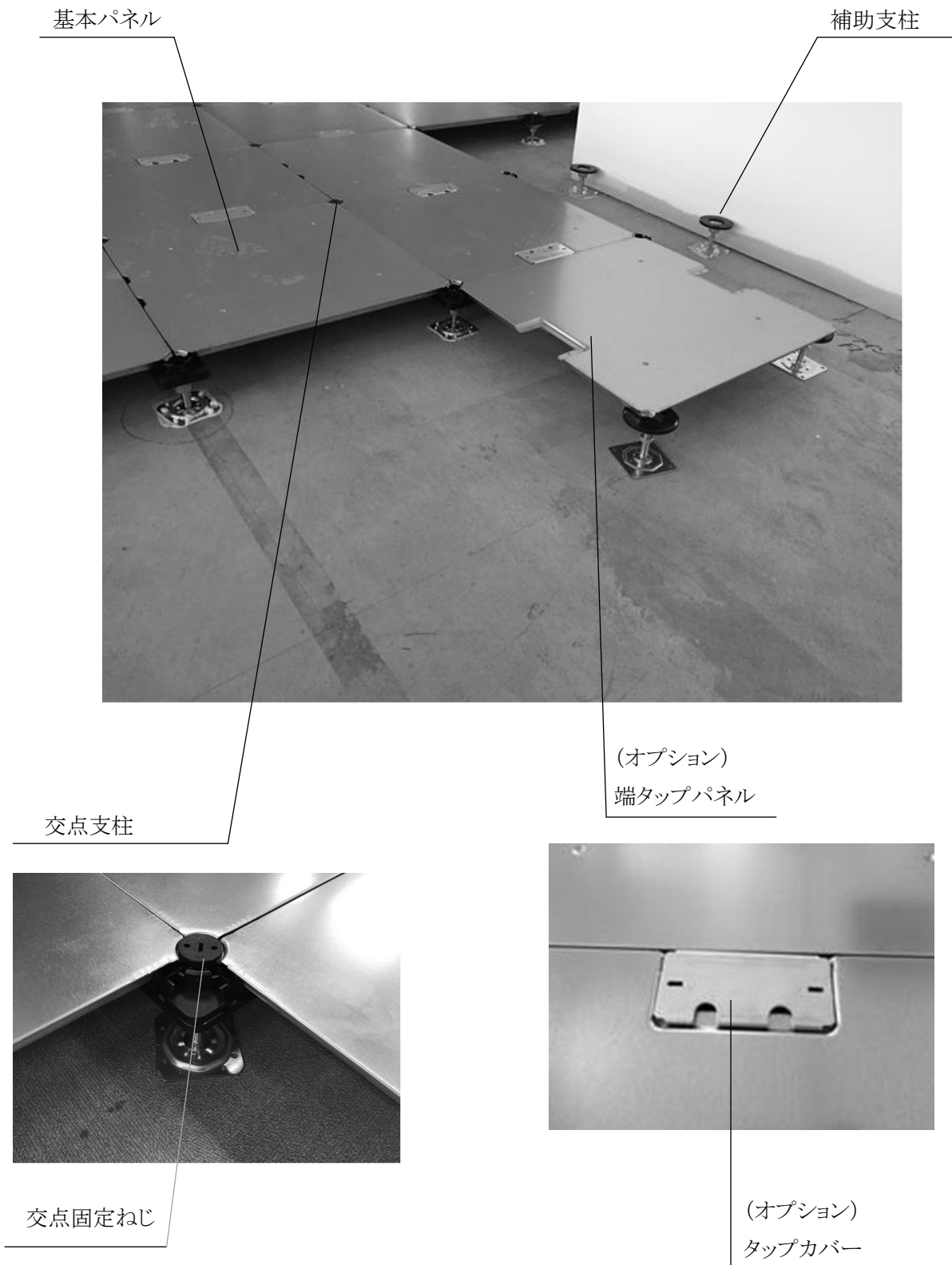
5.重量機器の搬入要領……P15

自主検査表……P16

1. OAフロア FP5000 の構成と仕様

1-1 OAフロア FP5000 の部材構成

OAフロア FP5000 はパネルと交点支柱・補助支柱で床組を構成し、パネルと交点支柱を交点固定ネジで固定する工法です。



2.材料

2-1 部材

FP5000 基本パネル



用途:OAフロアのパネルとして使用

材質:スチール(パーティクルボードコア)

規格:499mm×499mm×20mm

交点支柱 H60~200



用途:真物のパネルを支える支柱

材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

交点固定ネジ



用途:パネルの固定に使用

材質:ポリアセタール樹脂

補助支柱 H60~200



用途:壁際部のパネルを支える支柱

材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

2-2 オプション部材

FP5000 端タップパネル



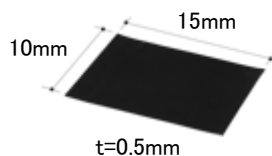
用途:辺部にコンセントを取り付ける

開口を有するパネル

材質:スチール(パーティクルボードコア)

規格:499mm×499mm×20mm

ガタツキ調整パッキン



用途:床不陸によるガタツキがある

場合に支柱の台板に取り付けて使用

材質:ゴム

規格:0.5×10×15mm

※A4 サイズ 380 枚取り

クッションゴム



用途:壁面の傷防止として、必要に応じ

壁際パネルの側面に取り付けて使用

材質:EPDM ゴム(片面剥離紙付き)

規格:5×10×500mm

交点支柱 H210～600



受注生産品

用途:真物のパネルを支える支柱
(H210～600 mmの高床の場合)
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

交点固定ネジ



受注生産品

用途:パネルの固定に使用
(H210～600 mmの高床の場合)

材質:ポリアセタール樹脂
※交点支柱 1 本につき 1 個付いています。

補助支柱 H210～600



受注生産品

用途:壁際部のパネルを支える支柱
(H210～600 mmの高床の場合)
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

交点支柱 H60～200 ノンウイスカ



受注生産品

ウイスカ対策品

用途:真物のパネルを支える支柱
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂
※交点固定ネジは通常品と同様です。

補助支柱 H60～200 ノンウイスカ



受注生産品

ウイスカ対策品

用途:壁際部のパネルを支える支柱
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

交点支柱 H210～600 ノンウイスカ



受注生産品

ウイスカ対策品

用途:真物のパネルを支える支柱
(H210～600 mmの高床の場合)
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂
※交点固定ネジは通常品と同様です。

補助支柱 H210～600 ノンウイスカ



受注生産品

ウイスカ対策品

用途:壁際部のパネルを支える支柱
(H210～600 mmの高床の場合)
材質:鋼製、ポリプロピレン樹脂

2.材料

2-3 副資材

●推奨接着剤(支柱固定用)

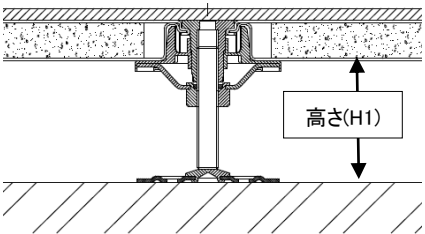
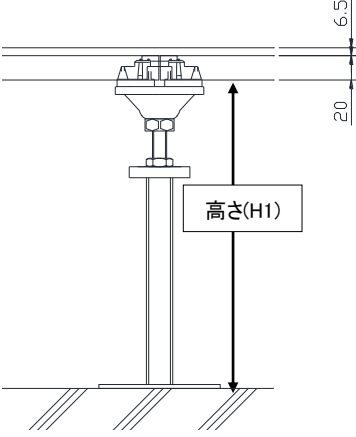
品名	製造元	主成分	備考
ディノグリップ 333	ノーテープ工業株式会社	ウレタン樹脂	JAIA(日本接着剤工業会) F☆☆☆☆
ルビロン 302	トーヨーポリマー株式会社	ウレタン樹脂	
スーパーU ダイン N	フクビ化学工業株式会社	ウレタン樹脂	

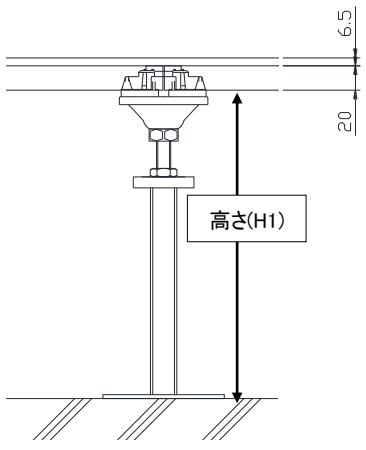
●ドリルビス

SUS サラドリルビス 32mm 以上 (端部パネルと補助支柱の固定に使用)

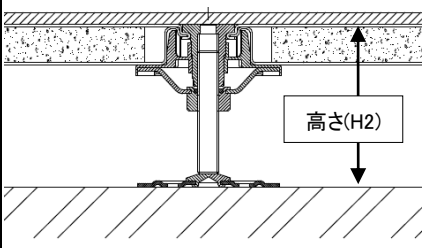
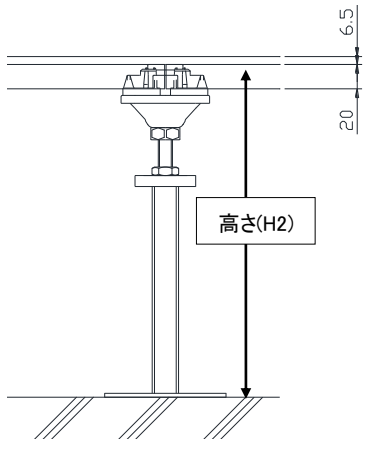
3.OAフロア FP5000 床高さ調整範囲

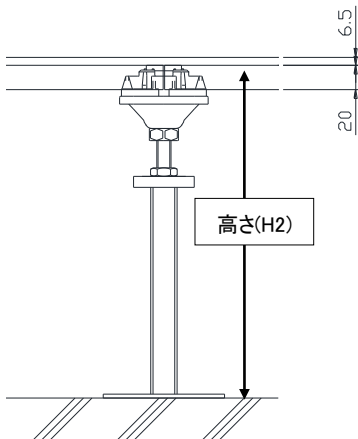
3-1 支柱高さ調整範囲(床下配線スペース)

品名	支柱台板天端までの高さ(H1)調整範囲(mm)	中央高さ(mm)	備考
交点支柱 H60	27.5～39.5	33.5	
補助支柱 H60	24.5～38.5	33.5	
交点支柱 H70	33.5～49.5	41.5	
補助支柱 H70	34.5～48.5	41.5	
交点支柱 H80	43.5～59.5	51.5	
補助支柱 H80	42.5～67.5	51.5	
交点支柱 H100	53.5～91.5	72.5	
補助支柱 H100	54.5～87.5	72.5	
交点支柱 H130	83.5～121.5	102.5	
補助支柱 H130	84.5～117.5	102.5	
交点支柱 H150	103.5～141.5	122.5	
補助支柱 H150	104.5～137.5	122.5	
交点支柱 H180	133.5～171.5	152.5	
補助支柱 H180	134.5～167.5	152.5	
交点支柱 H200	153.5～191.5	172.5	
補助支柱 H200	154.5～187.5	172.5	
交点支柱 H210	163.5～201.5	183.5	
補助支柱 H210	171.5～191.5	183.5	
交点支柱 H220	173.5～211.5	193.5	
補助支柱 H220	181.5～201.5	193.5	
交点支柱 H230	183.5～221.5	203.5	
補助支柱 H230	191.5～211.5	203.5	
交点支柱 H240	193.5～231.5	213.5	
補助支柱 H240	201.5～221.5	213.5	
交点支柱 H250	203.5～241.5	223.5	
補助支柱 H250	211.5～231.5	223.5	
交点支柱 H260	213.5～251.5	233.5	
補助支柱 H260	221.5～241.5	233.5	
交点支柱 H270	223.5～261.5	243.5	
補助支柱 H270	231.5～251.5	243.5	
交点支柱 H280	233.5～271.5	253.5	
補助支柱 H280	241.5～261.5	253.5	
交点支柱 H290	243.5～281.5	263.5	
補助支柱 H290	251.5～271.5	263.5	
交点支柱 H300	253.5～291.5	273.5	
補助支柱 H300	261.5～281.5	273.5	
交点支柱 H310	274.5～301.5	283.5	
補助支柱 H310	274.5～292.5	283.5	
交点支柱 H320	284.5～311.5	293.5	
補助支柱 H320	284.5～302.5	293.5	
交点支柱 H330	294.5～321.5	303.5	
補助支柱 H330	294.5～312.5	303.5	
交点支柱 H340	304.5～331.5	313.5	
補助支柱 H340	304.5～322.5	313.5	
交点支柱 H350	314.5～341.5	323.5	
補助支柱 H350	314.5～332.5	323.5	

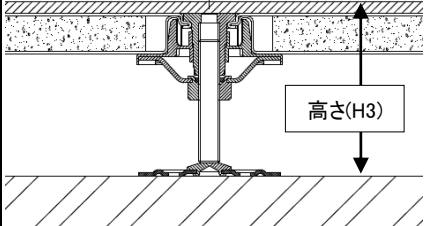
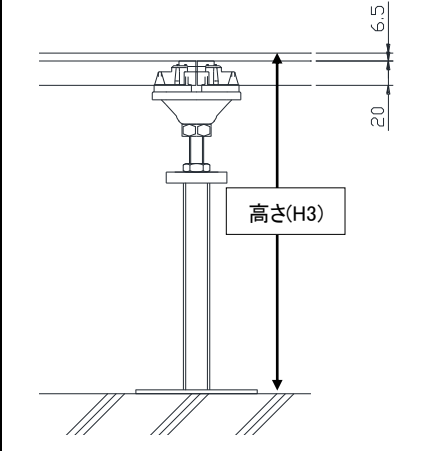
品名	支柱台板天端までの 高さ(H1) 調整範囲 (mm)	中央高さ (mm)	備考
交点支柱 H360	324.5～351.5	333.5	
補助支柱 H360	324.5～342.5	333.5	
交点支柱 H370	334.5～361.5	343.5	
補助支柱 H370	334.5～352.5	343.5	
交点支柱 H380	344.5～371.5	353.5	
補助支柱 H380	344.5～362.5	353.5	
交点支柱 H390	354.5～381.5	363.5	
補助支柱 H390	354.5～372.5	363.5	
交点支柱 H400	364.5～391.5	373.5	
補助支柱 H400	364.5～382.5	373.5	
交点支柱 H410	374.5～401.5	383.5	
補助支柱 H410	374.5～392.5	383.5	
交点支柱 H420	384.5～411.5	393.5	
補助支柱 H420	384.5～402.5	393.5	
交点支柱 H430	394.5～421.5	403.5	
補助支柱 H430	394.5～412.5	403.5	
交点支柱 H440	404.5～431.5	413.5	
補助支柱 H440	404.5～422.5	413.5	
交点支柱 H450	414.5～441.5	423.5	
補助支柱 H450	414.5～432.5	423.5	
交点支柱 H460	424.5～451.5	433.5	
補助支柱 H460	424.5～442.5	433.5	
交点支柱 H470	434.5～461.5	443.5	
補助支柱 H470	434.5～452.5	443.5	
交点支柱 H480	444.5～471.5	453.5	
補助支柱 H480	444.5～462.5	453.5	
交点支柱 H490	454.5～481.5	463.5	
補助支柱 H490	454.5～472.5	463.5	
交点支柱 H500	464.5～491.5	473.5	
補助支柱 H500	464.5～482.5	473.5	
交点支柱 H550	514.5～541.5	523.5	
補助支柱 H550	514.5～532.5	523.5	
交点支柱 H600	564.5～591.5	573.5	
補助支柱 H600	564.5～582.5	573.5	

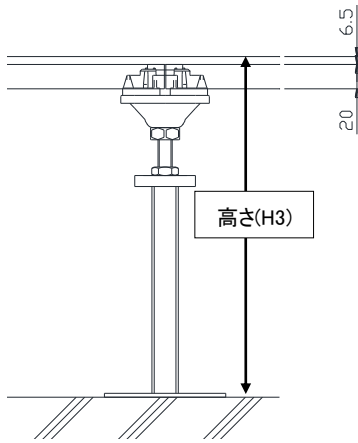
3-2 床下地高さ調整範囲(パネル 20mm 天端までの高さ調整範囲)

品名	パネル 20mm 天端までの 高さ(H2)調整範囲 (mm)	中央 高さ (mm)	床下配線 スペース (mm)	備考
交点支柱 H60	47.5~59.5	53.5	27.5~39.5	
補助支柱 H60	44.5~58.5	53.5	24.5~38.5	
交点支柱 H70	53.5~69.5	61.5	33.5~49.5	
補助支柱 H70	54.5~68.5	61.5	34.5~48.5	
交点支柱 H80	63.5~79.5	71.5	43.5~59.5	
補助支柱 H80	62.5~87.5	71.5	42.5~67.5	
交点支柱 H100	73.5~111.5	92.5	53.5~91.5	
補助支柱 H100	74.5~107.5	92.5	54.5~87.5	
交点支柱 H130	103.5~141.5	122.5	83.5~121.5	
補助支柱 H130	104.5~137.5	122.5	84.5~117.5	
交点支柱 H150	123.5~161.5	142.5	103.5~141.5	
補助支柱 H150	124.5~157.5	142.5	104.5~137.5	
交点支柱 H180	153.5~191.5	172.5	133.5~171.5	
補助支柱 H180	154.5~187.5	172.5	134.5~167.5	
交点支柱 H200	173.5~211.5	192.5	153.5~191.5	
補助支柱 H200	174.5~207.5	192.5	154.5~187.5	
交点支柱 H210	183.5~221.5	203.5	163.5~201.5	
補助支柱 H210	191.5~211.5	203.5	171.5~191.5	
交点支柱 H220	193.5~231.5	213.5	173.5~211.5	
補助支柱 H220	201.5~221.5	213.5	181.5~201.5	
交点支柱 H230	203.5~241.5	223.5	183.5~221.5	
補助支柱 H230	211.5~231.5	223.5	191.5~211.5	
交点支柱 H240	213.5~251.5	233.5	193.5~231.5	
補助支柱 H240	221.5~241.5	233.5	201.5~221.5	
交点支柱 H250	223.5~261.5	243.5	203.5~241.5	
補助支柱 H250	231.5~251.5	243.5	211.5~231.5	
交点支柱 H260	233.5~271.5	253.5	213.5~251.5	
補助支柱 H260	241.5~261.5	253.5	221.5~241.5	
交点支柱 H270	243.5~281.5	263.5	223.5~261.5	
補助支柱 H270	251.5~271.5	263.5	231.5~251.5	
交点支柱 H280	253.5~291.5	273.5	233.5~271.5	
補助支柱 H280	261.5~281.5	273.5	241.5~261.5	
交点支柱 H290	263.5~301.5	283.5	243.5~281.5	
補助支柱 H290	271.5~291.5	283.5	251.5~271.5	
交点支柱 H300	273.5~311.5	293.5	253.5~291.5	
補助支柱 H300	281.5~301.5	293.5	261.5~281.5	
交点支柱 H310	294.5~321.5	303.5	274.5~301.5	
補助支柱 H310	294.5~312.5	303.5	274.5~292.5	
交点支柱 H320	304.5~331.5	313.5	284.5~311.5	
補助支柱 H320	304.5~322.5	313.5	284.5~302.5	
交点支柱 H330	314.5~341.5	323.5	294.5~321.5	
補助支柱 H330	314.5~332.5	323.5	294.5~312.5	
交点支柱 H340	324.5~351.5	333.5	304.5~331.5	
補助支柱 H340	324.5~342.5	333.5	304.5~322.5	
交点支柱 H350	334.5~361.5	343.5	314.5~341.5	
補助支柱 H350	334.5~352.5	343.5	314.5~332.5	
交点支柱 H360	344.5~371.5	353.5	324.5~351.5	
補助支柱 H360	344.5~362.5	353.5	324.5~342.5	

品名	パネル 20mm 天端までの 高さ(H2) 調整範囲 (mm)	中央 高さ (mm)	床下配線 スペース (mm)	備考
交点支柱 H370	354.5～381.5	363.5	334.5～361.5	
補助支柱 H370	354.5～372.5	363.5	334.5～352.5	
交点支柱 H380	364.5～391.5	373.5	344.5～371.5	
補助支柱 H380	364.5～382.5	373.5	344.5～362.5	
交点支柱 H390	374.5～401.5	383.5	354.5～381.5	
補助支柱 H390	374.5～392.5	383.5	354.5～372.5	
交点支柱 H400	384.5～411.5	393.5	364.5～391.5	
補助支柱 H400	384.5～402.5	393.5	364.5～382.5	
交点支柱 H410	394.5～421.5	403.5	374.5～401.5	
補助支柱 H410	394.5～412.5	403.5	374.5～392.5	
交点支柱 H420	404.5～431.5	413.5	384.5～411.5	
補助支柱 H420	404.5～422.5	413.5	384.5～402.5	
交点支柱 H430	414.5～441.5	423.5	394.5～421.5	
補助支柱 H430	414.5～432.5	423.5	394.5～412.5	
交点支柱 H440	424.5～451.5	433.5	404.5～431.5	
補助支柱 H440	424.5～442.5	433.5	404.5～422.5	
交点支柱 H450	434.5～461.5	443.5	414.5～441.5	
補助支柱 H450	434.5～452.5	443.5	414.5～432.5	
交点支柱 H460	444.5～471.5	453.5	424.5～451.5	
補助支柱 H460	444.5～462.5	453.5	424.5～442.5	
交点支柱 H470	454.5～481.5	463.5	434.5～461.5	
補助支柱 H470	454.5～472.5	463.5	434.5～452.5	
交点支柱 H480	464.5～491.5	473.5	444.5～471.5	
補助支柱 H480	464.5～482.5	473.5	444.5～462.5	
交点支柱 H490	474.5～501.5	483.5	454.5～481.5	
補助支柱 H490	474.5～492.5	483.5	454.5～472.5	
交点支柱 H500	484.5～511.5	493.5	464.5～491.5	
補助支柱 H500	484.5～502.5	493.5	464.5～482.5	
交点支柱 H550	534.5～561.5	543.5	514.5～541.5	
補助支柱 H550	534.5～552.5	543.5	514.5～532.5	
交点支柱 H600	584.5～611.5	593.5	564.5～591.5	
補助支柱 H600	584.5～602.5	593.5	564.5～582.5	

3-3 床仕上げ高さ調整範囲(タイルカーペット 6.5mm 天端までの高さ調整範囲)

品名	タイルカーペット 6.5mm 天端までの 高さ(H3)調整範囲 (mm)	中央 高さ (mm)	床下配線 スペース (mm)	備考
交点支柱 H60	54~66	60	27.5~39.5	
補助支柱 H60	51~65	60	24.5~38.5	
交点支柱 H70	60~76	70	33.5~49.5	
補助支柱 H70	61~75	70	34.5~48.5	
交点支柱 H80	70~86	80	43.5~59.5	
補助支柱 H80	69~94	80	42.5~67.5	
交点支柱 H100	80~118	100	53.5~91.5	
補助支柱 H100	81~114	100	54.5~87.5	
交点支柱 H130	110~148	130	83.5~121.5	
補助支柱 H130	111~144	130	84.5~117.5	
交点支柱 H150	130~168	150	103.5~141.5	
補助支柱 H150	131~164	150	104.5~137.5	
交点支柱 H180	160~198	180	133.5~171.5	
補助支柱 H180	161~194	180	134.5~167.5	
交点支柱 H200	180~218	200	153.5~191.5	
補助支柱 H200	181~214	200	154.5~187.5	
交点支柱 H210	190~228	210	163.5~201.5	
補助支柱 H210	198~218	210	171.5~191.5	
交点支柱 H220	200~238	220	173.5~211.5	
補助支柱 H220	208~228	220	181.5~201.5	
交点支柱 H230	210~248	230	183.5~221.5	
補助支柱 H230	218~238	230	191.5~211.5	
交点支柱 H240	220~258	240	193.5~231.5	
補助支柱 H240	228~248	240	201.5~221.5	
交点支柱 H250	230~268	250	203.5~241.5	
補助支柱 H250	238~258	250	211.5~231.5	
交点支柱 H260	240~278	260	213.5~251.5	
補助支柱 H260	248~268	260	221.5~241.5	
交点支柱 H270	250~288	270	223.5~261.5	
補助支柱 H270	258~278	270	231.5~251.5	
交点支柱 H280	260~298	280	233.5~271.5	
補助支柱 H280	268~288	280	241.5~261.5	
交点支柱 H290	270~308	290	243.5~281.5	
補助支柱 H290	278~298	290	251.5~271.5	
交点支柱 H300	280~318	300	253.5~291.5	
補助支柱 H300	288~308	300	261.5~281.5	
交点支柱 H310	301~328	310	274.5~301.5	
補助支柱 H310	301~319	310	274.5~292.5	
交点支柱 H320	311~338	320	284.5~311.5	
補助支柱 H320	311~329	320	284.5~302.5	
交点支柱 H330	321~348	330	294.5~321.5	
補助支柱 H330	321~339	330	294.5~312.5	
交点支柱 H340	331~358	340	304.5~331.5	
補助支柱 H340	331~349	340	304.5~322.5	
交点支柱 H350	341~368	350	314.5~341.5	
補助支柱 H350	341~359	350	314.5~332.5	
交点支柱 H360	351~378	360	324.5~351.5	
補助支柱 H360	351~369	360	324.5~342.5	

品名	タイルカーペット6.5mm 天端までの 高さ(H3)調整範囲 (mm)	中央 高さ (mm)	床下配線 スペース (mm)	備考
交点支柱 H370	361～388	370	334.5～361.5	
補助支柱 H370	361～379	370	334.5～352.5	
交点支柱 H380	371～398	380	344.5～371.5	
補助支柱 H380	371～389	380	344.5～362.5	
交点支柱 H390	381～408	390	354.5～381.5	
補助支柱 H390	381～399	390	354.5～372.5	
交点支柱 H400	391～418	400	364.5～391.5	
補助支柱 H400	391～409	400	364.5～382.5	
交点支柱 H410	401～428	410	374.5～401.5	
補助支柱 H410	401～419	410	374.5～392.5	
交点支柱 H420	411～438	420	384.5～411.5	
補助支柱 H420	411～429	420	384.5～402.5	
交点支柱 H430	421～448	430	394.5～421.5	
補助支柱 H430	421～439	430	394.5～412.5	
交点支柱 H440	431～458	440	404.5～431.5	
補助支柱 H440	431～449	440	404.5～422.5	
交点支柱 H450	441～468	450	414.5～441.5	
補助支柱 H450	441～459	450	414.5～432.5	
交点支柱 H460	451～478	460	424.5～451.5	
補助支柱 H460	451～469	460	424.5～442.5	
交点支柱 H470	461～488	470	434.5～461.5	
補助支柱 H470	461～479	470	434.5～452.5	
交点支柱 H480	471～498	480	444.5～471.5	
補助支柱 H480	471～489	480	444.5～462.5	
交点支柱 H490	481～508	490	454.5～481.5	
補助支柱 H490	481～499	490	454.5～472.5	
交点支柱 H500	491～518	500	464.5～491.5	
補助支柱 H500	491～509	500	464.5～482.5	
交点支柱 H550	541～568	550	514.5～541.5	
補助支柱 H550	541～559	550	514.5～532.5	
交点支柱 H600	591～618	600	564.5～591.5	
補助支柱 H600	591～609	600	564.5～582.5	

※H210～300 の交点支柱の調整範囲は-20～+18 mm、補助支柱の調整範囲は-12～+8 mmと、H310～600 の交点支柱の調整範囲は-9～+18 mm、補助支柱の調整範囲は-9～+9 mmと、中央高さが同じでも調整範囲が異なりますのでご注意ください。

4. 施工手順

4-1 施工前の準備と確認

○仕上に貼るタイルカーペットや OA フロア用タイルの割付により OA フロアの割付方法は決まります。

事前に仕上げ材がどのような割付になるかを確認し、OA フロアの割付を行ってください。

○OA フロア FP5000 は、壁際のパネル寸法を 50mm 以上としています。誤差や余裕をみて壁際パネルが 50mm 未満にならないように割付を行ってください。

○施工前に施工場所の不陸状態に関する調査を行い、支柱の種類を支柱の高さ調整範囲を勘案して選定してください。

○コンクリート面を清掃し、極端な凸凹がある場合は修正を依頼してください。

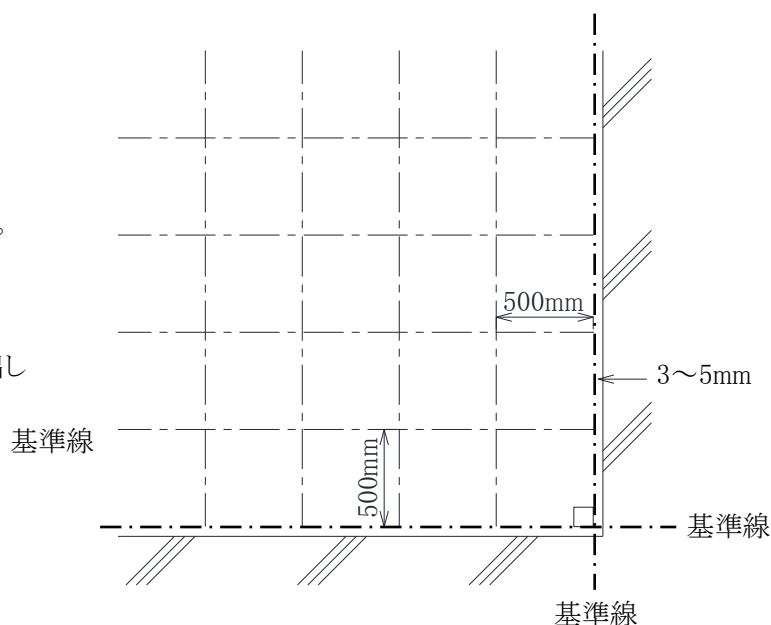
○解梱包は施工階にて行ってください。

4-2 墨出し

4-2-1 片側の壁面から割付する場合

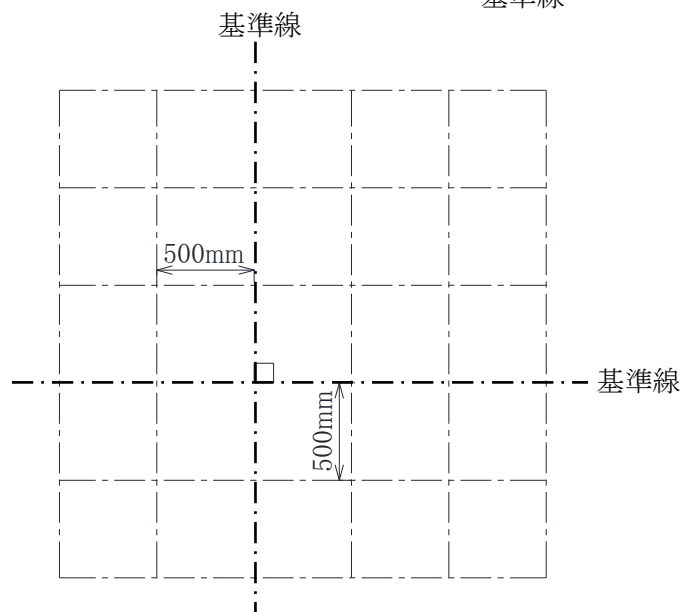
①右図の様に壁面から 3～5mm の位置を基準線とし、床面に墨出しを行います。対角寸法を測定しながら直角にもう一方の基準線を墨出しします。

②合わせて基準線から 500mm 間隔で基準線と平行に墨出しを行い、床全面に碁盤目状の墨出しを行います。



4-2-2 部屋の中心から割付する場合

①部屋の縦横の中心線を正確に墨打ちし、その線を基準線として 500mm 間隔で床全面に墨出しを行います。



4-3 不陸の測定

①墨出し交点の主要ポイント部について不陸の測定を行います。

②不陸が床高さ調整範囲に入っていることを確認します

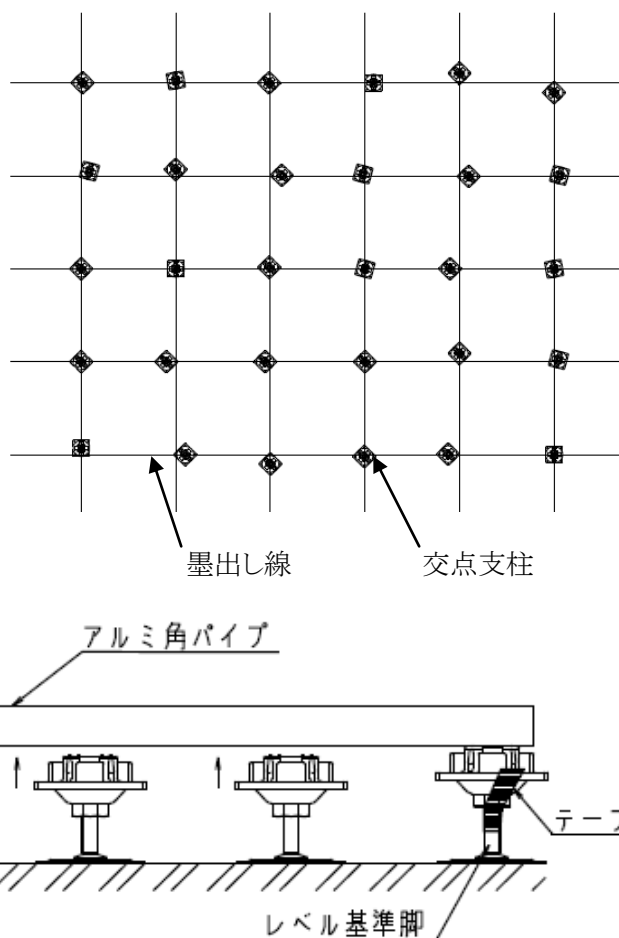
4. 施工手順

4-4 支柱のレベル出し

① 出しの交点に交点支柱を並べ仮置きします。

② 基準となる交点支柱(6本に1本程度)
を決め、基準となる交点支柱のレベル
出しを行います。

③ アルミ製角パイプ等を用いてレベル
出した基準となる交点支柱とその他
の交点支柱のレベルを合わせます



ワンポイントアドバイス

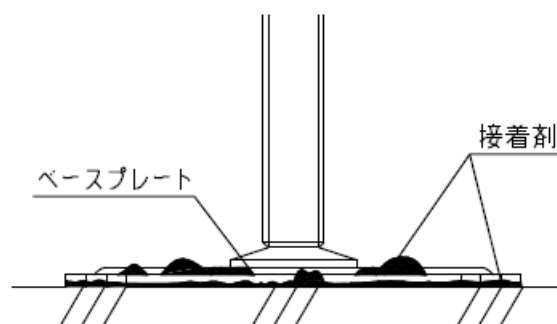
レベル調整した基準となる交点支柱には、目印を付けると他の交点支柱とレベルを揃える際に、分かりやすくなります。

4-5 支柱の接着

◆支柱 H60～200 の場合

① 接着剤をベースプレート裏面側に 25g～30g 塗布
してください。

② 支柱をベースプレートの外周部及び孔部
から接着剤が多少はみ出すまで押し付け、
接着剤が行き渡るようにします。



③ 柱は一度に全数を接着せず、接着剤の硬化時間を考慮の上、パネルを敷き込む量に合わせて順次行うようにして下さい。

◆支柱 H210～600 の場合

① 接着剤をベースプレート裏面側に塗布してください。

《塗布量》

◎交点支柱

H210～300 は 79～94g

H310～450 は 178～212g

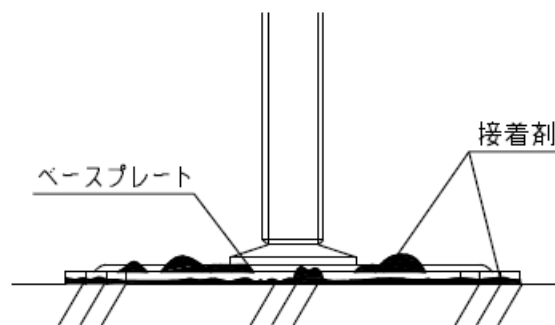
H460～600 は 220～262g

◎補助支柱

H210～300 は 79～94g

H310～490 は 123～147g

H500～600 は 178 ～212g



※交点支柱と補助支柱ではベースプレートの大きさが異なるため、同じ高さでも塗布量が違う場合があります。

② 支柱をベースプレートの外周部及び孔部から接着剤が多少はみ出すまで押し付け、接着剤が行き渡るようにします。

③ 柱は一度に全数を接着せず、接着剤の硬化時間を考慮の上、パネルを敷き込む量に合わせて順次行うようにして下さい。

4. 施工手順

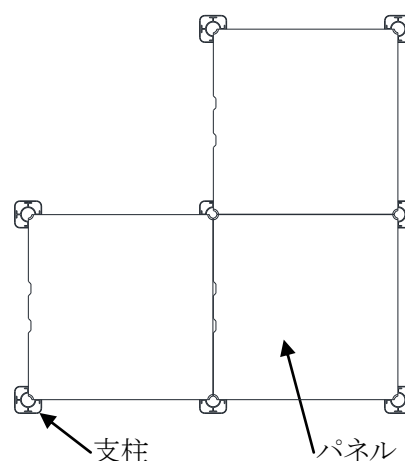
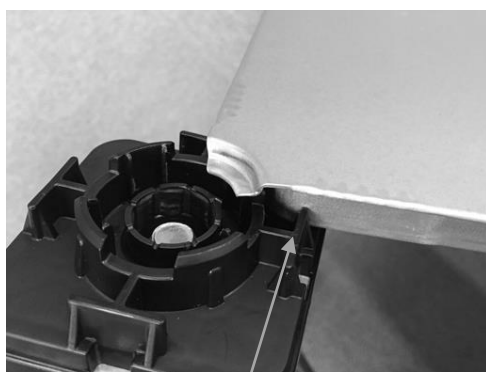
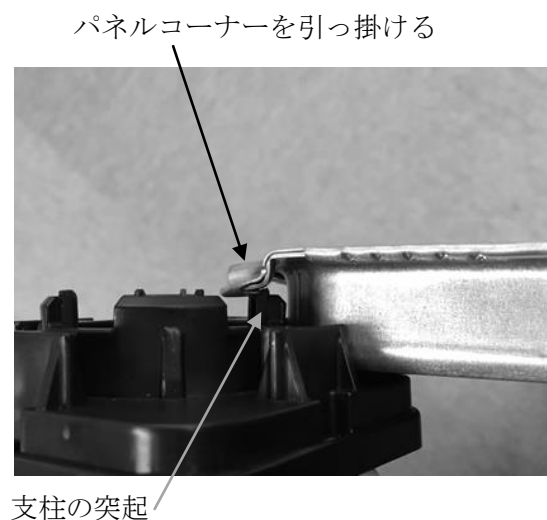
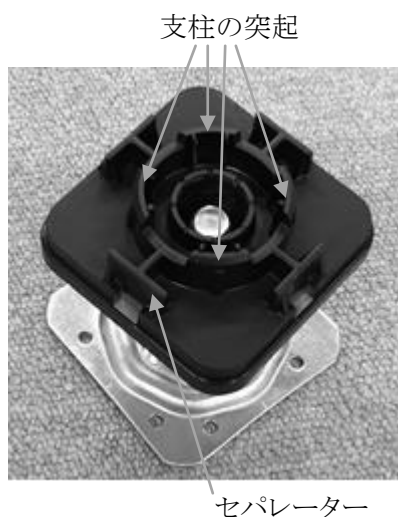
4-6 パネルの設置と調整

4-6-1 パネルの設置と調整

- ① 最初に基準となるパネルの敷設を行います。直角に出した墨を基準にし、パネル位置が墨から直角であること、またパネルが水平であることを確認しながら調整を行います。

※基準パネルのレベル調整や位置出しは、その後のパネル敷設に重要な役割を果たします。

- ② 最初に敷設した基準パネルを中心に、順次敷設を行っていきます。この際、支柱の突起にパネルコーナーを引っ掛けセパレーターにパネルを当て、目地を確認しながら敷設をしていきます。（セパレーターによりパネルの目地は1mmになります。）



※パネルの方向性に注意ください。（次項 4-6-2 参照）

ワンポイントアドバイス

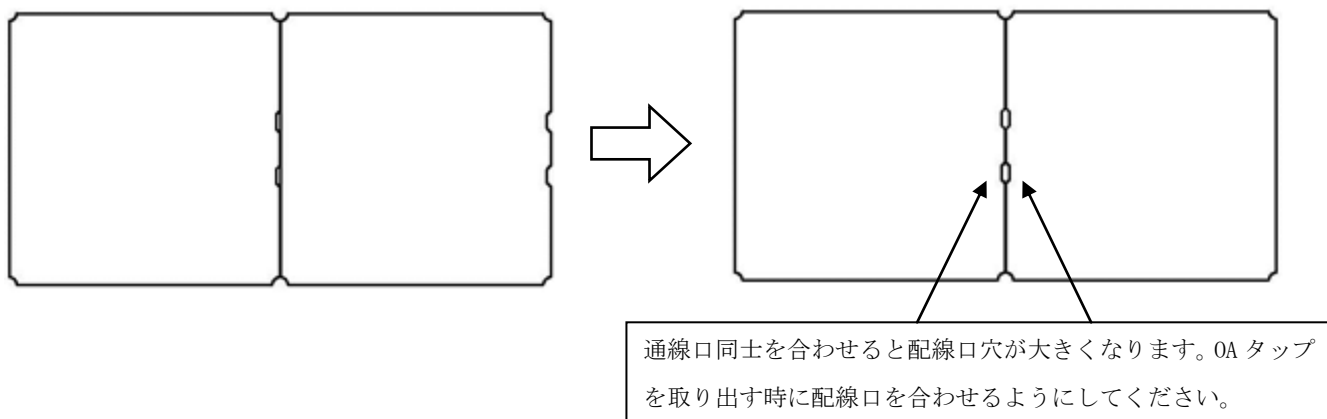
- パネルの四隅を押してガタツキの確認をしてください。
- 床の不陸によってガタツキが直らない場合は、ガタツキ調整パッキンを使用してください。

4. 施工手順

4-6-2 パネルの方向性

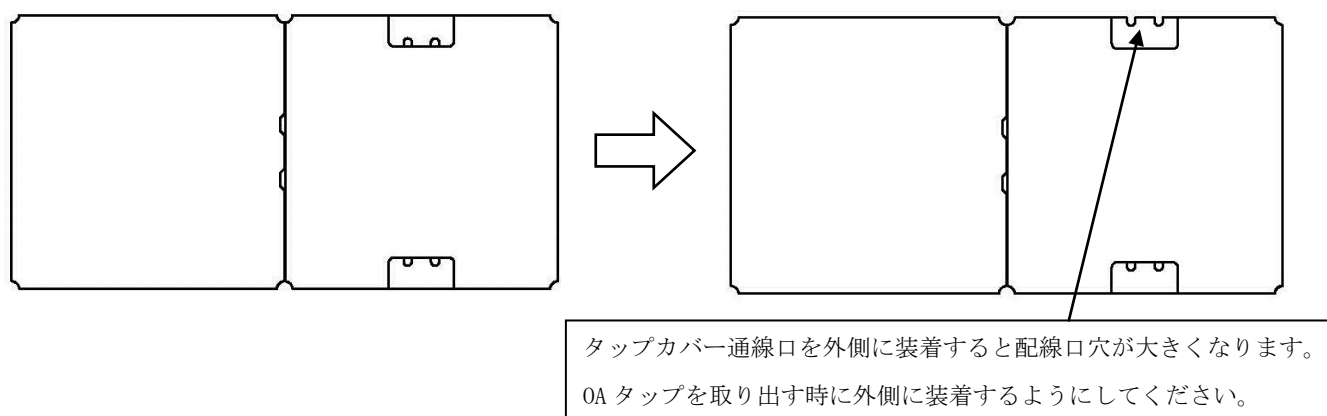
○基本パネル同士が隣接する場合

※通線口同士を合わせると配線口穴が大きくなります。安全性を配慮し OA タップ取り出す時に電気工事業者様がパネルの配線口を合わせるようにしてください。



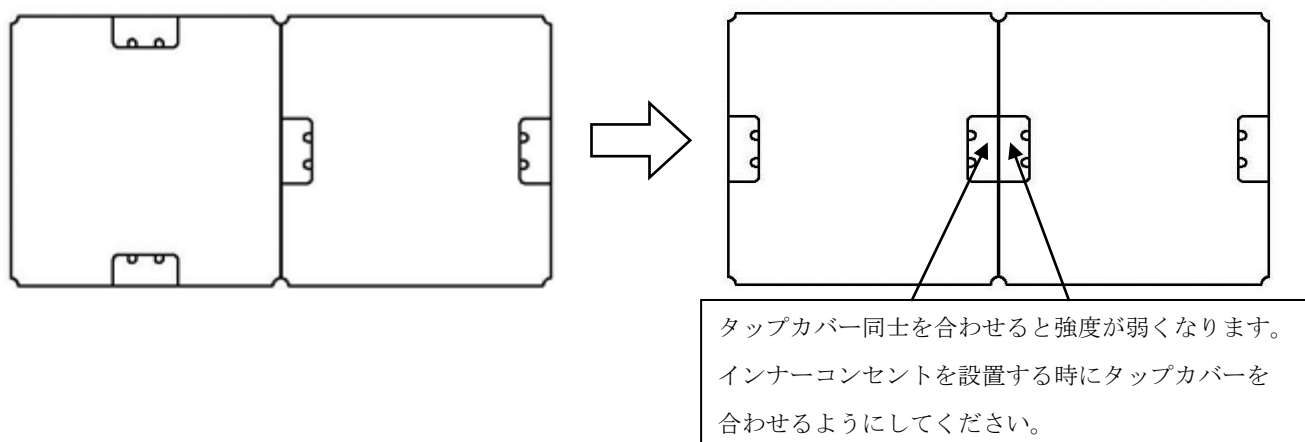
○タップカバーの方向性

※タップカバー通線口を外側に装着すると配線口穴が大きくなります。安全性を考慮し OA タップ取り出す時に電気工事業者様が外側に装着するようにしてください。



○端タップパネル同士が隣接する場合

※タップカバー同士を合わせると強度が弱くなります。安全性を確保するため、一旦はタップカバーの面が隣り合わないよう設置しておいて、電気工事業者様がインナーコンセントを取り付ける時にパネルを一旦外してタップカバー同士が隣合うようにしていただってください。



4. 施工手順

4-7 端部パネルの設置と調整

4-7-1 補助支柱の設置

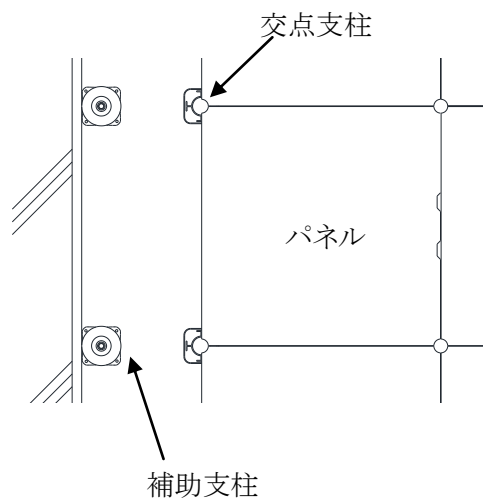
○壁際部分には真物で納める場合でも、カットパネルの場合でも補助型支柱を設置しパネルを敷設して納めます。

○墨線上にできる限り壁際に寄せて、補助支柱を仮置きします。

4-7-2 補助支柱のレベル出しと接着

①先に並べた中央部の交点支柱と、端部に設置する補助支柱のレベルを合わせます。

② 交点支柱を外して、接着剤を 25～30g 塗布し、ベースプレート外周部及び孔部から接着剤がはみ出すまで押し付け、接着剤が行き渡るようにします。また、補助支柱も同様に接着剤で床面に固定します。

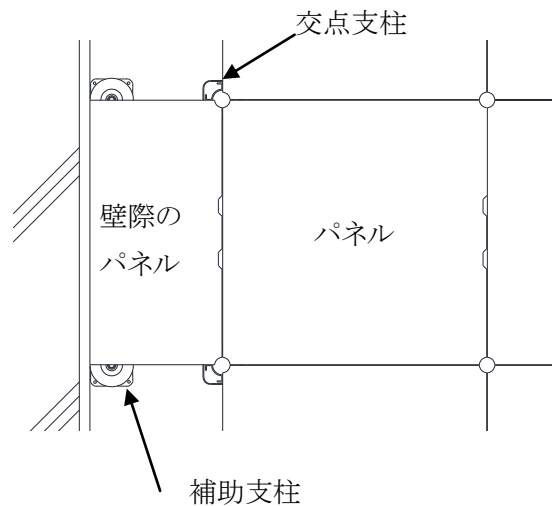


4-7-3 カットパネルの製作と敷設

○パネルを真物で納められない場合は、パネルを現場でカットする必要があります。

○壁際部は寸法により納め方が異なります。

次項「4-7-4 端部の納まり例」「4-7-5 出隅部の納まり例」を参照して下さい。

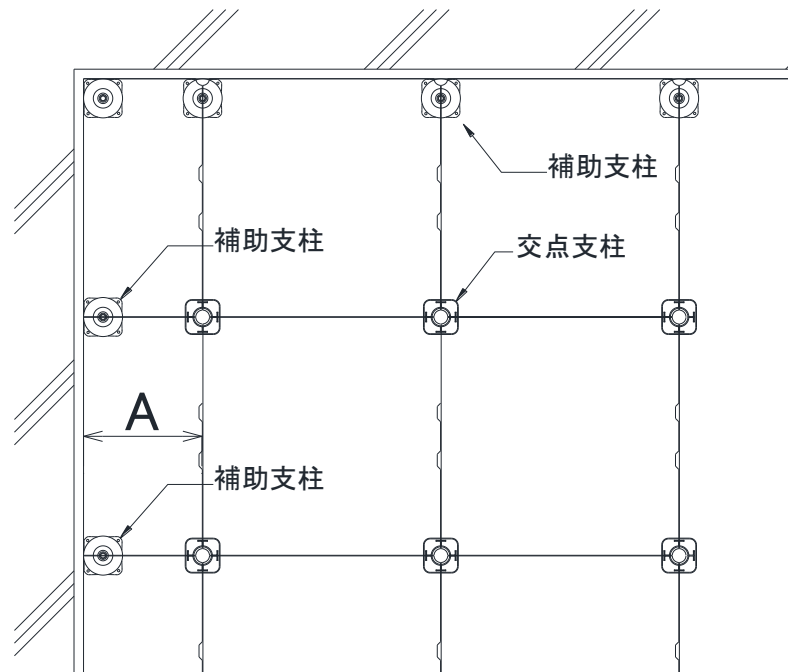


4. 施工手順

4-7-4 端部の納まり例

○寸法 A が 150mm 以上の場合 ($A \geq 150\text{mm}$)

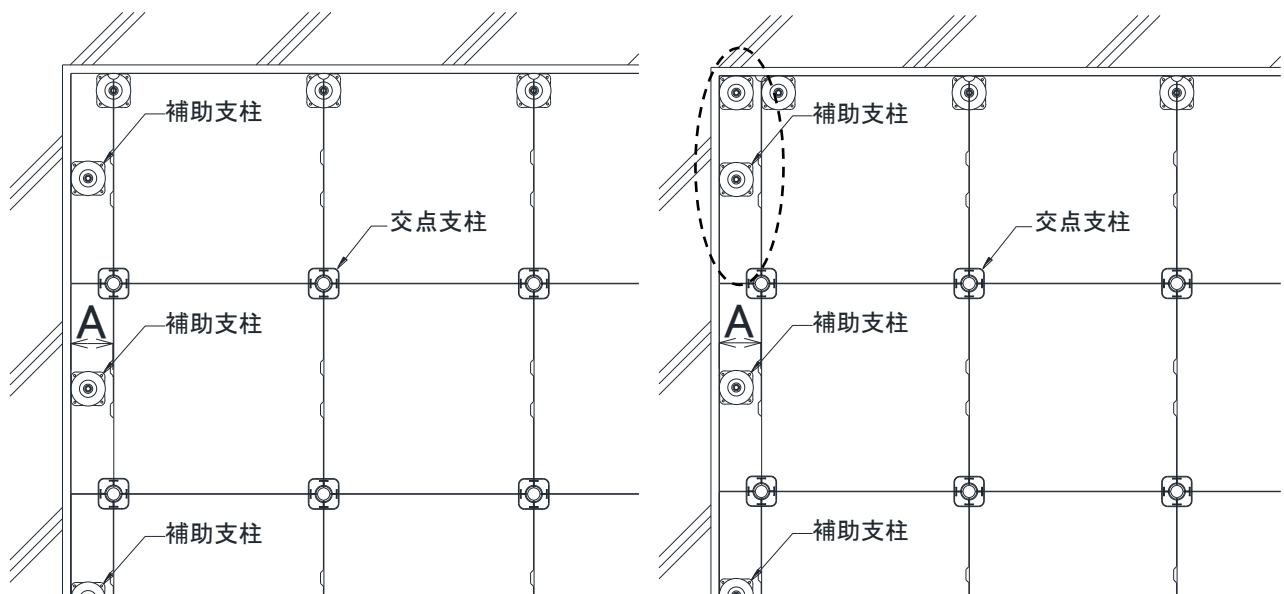
※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部と入隅角部分に配置して下さい。



○寸法 A が 50mm 以上 150mm 未満の場合 ($50\text{mm} \leq A < 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下左図のように交点支柱と干渉しない位置に配置して下さい。

※動線上にある部位については下右図の丸囲い部のように適宜補強して下さい。

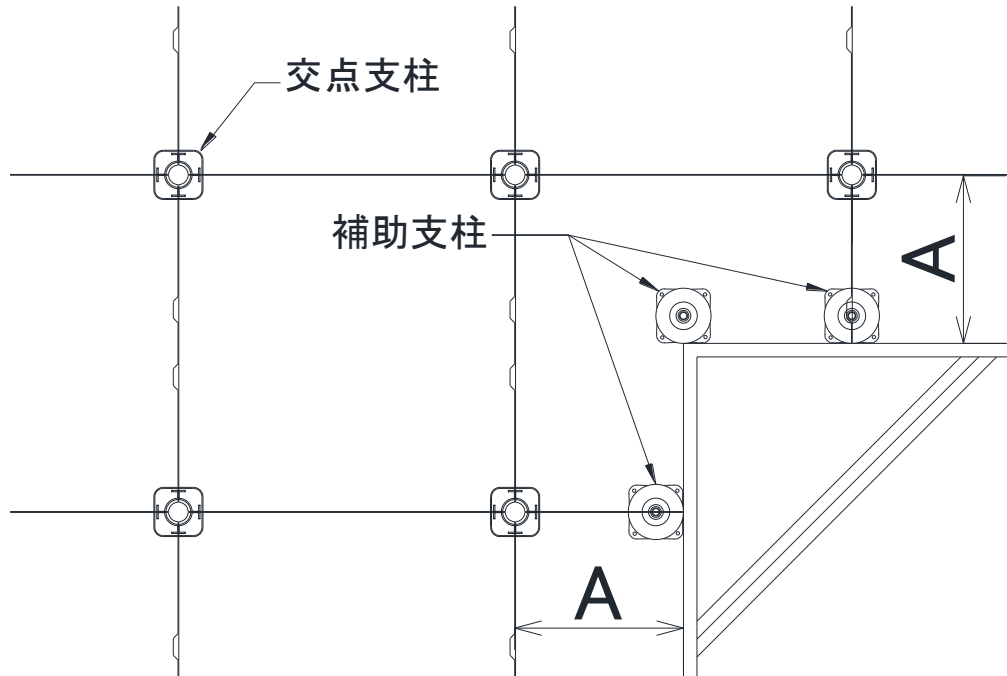


4. 施工手順

4-7-5 出隅部の納まり例

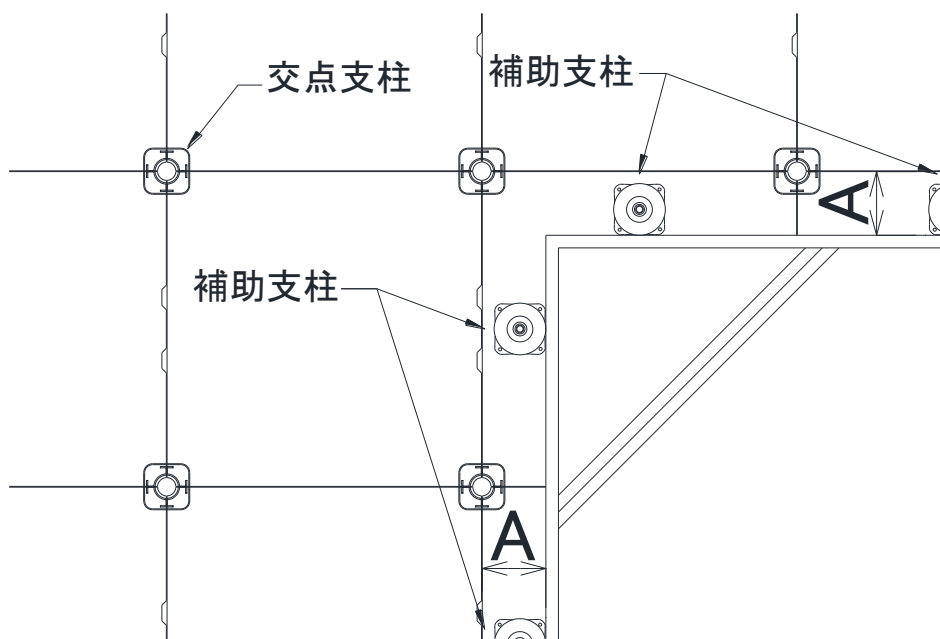
○寸法 A が 150mm 以上の場合 ($A \geq 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部と出隅各部付近に配置して下さい。



○寸法 A が 50mm 以上 150mm 未満の場合 ($50\text{mm} \leq A < 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下図のように交点支柱と干渉しない位置にバランスよく配置して下さい。また、出隅角付近には図のように 2 か所補助支柱を配置してください。

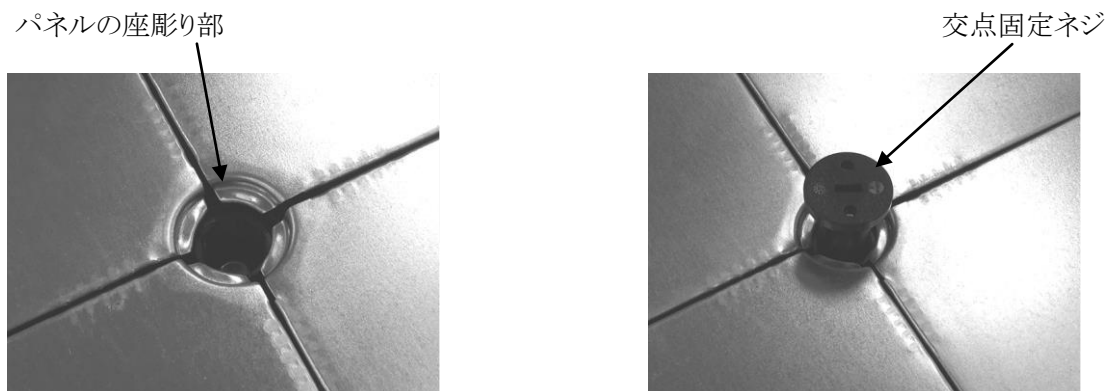


4. 施工手順

4-8 支柱とパネルの固定

4-8-1 交点支柱とパネルの固定

○交点固定ネジを交点支柱のネジ切り部に差し込み、ねじ 回し(マイナスドライバー幅 8 mm)又は電動ドライバーにて固定して下さい。電動ドライバーの際は 8 mm幅のマイナスビットをご使用下さい。



※電動ドライバーを使用する場合は、締めすぎに注意して下さい。

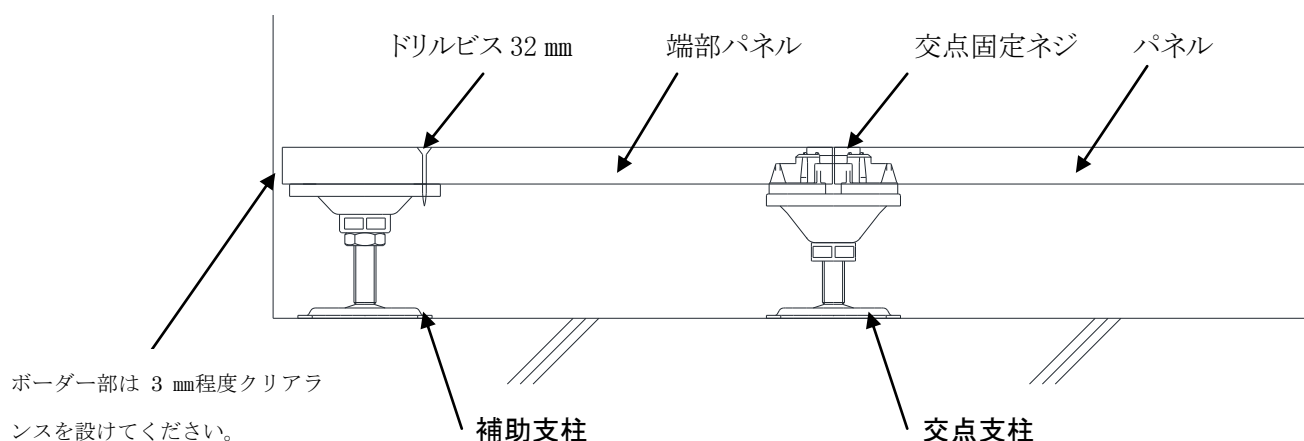
※固定する際、4枚パネル位置が正確に配置されていること及び支柱の浮き上がりが無いことを再確認して下さい。

4-8-2 補助支柱と端部パネルの固定

○端部パネルと補助支柱の台板をドリルビス 32 mm以上(補助支柱 1 本に対してビス 2 本)にて固定して下さい。

※固定する際、壁際とパネルに隙間があることを確認して下さい。

※固定する際、パネルの浮き上がりが無いことを確認して下さい。



ワンポイントアドバイス

○φ10程度のキリでパネルに座彫り加工を行って、ドリルビスを固定すると、ビス頭がパネル表面に出にくくなります。

○パネルに浮き上がりがある場合、交点固定ネジを一旦緩めると浮き上がりがなくなります。

※皿ビスで固定した後に、交点固定ネジのトルクを調整して下さい。

4. 施工手順

4-9 上がり框の取り付け

○ステンレス上がり框は受注生産品ですので、寸法をあらかじめ確認のうえ、注文をお願いします。

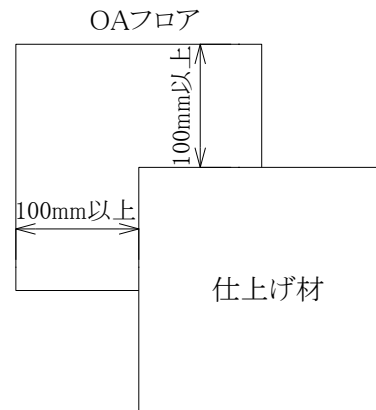
見積り、納期、納まり等に関しましては、弊社営業までご確認ください。

4-10 自主検査

○接着剤硬化後、自主検査表をもとに検査を行います。自主検査表は P12 に記載しています。

4-11 仕上げ材の施工

○タイルカーペット、OA フロア用タイル等仕上げ材は、パネルの目地部分を跨ぐようにパネルの端から概ね 100mm 以上ずらして施工してください。



5.重量機器の搬入要領

設備などの搬入・搬出に関して、キャスターによるこじりや衝撃などによる過大な移動荷重がOAフロアに作用し、パネルに窪みを生じさせたり、場合によってはパネルを破損させる事になります。

パネルの上で 300kg を超える資材を運ぶ場合には、局部荷重がかからないように、厚手の合板等を敷くなど、荷重を分散させる措置を取ってください。

また、下記事項にご留意ください。

○移動荷重は人力で押す程度の静かな載荷を前提としています。

○方向転換の為、キャスターをこじる、急なロックをかける等の操作は過大な荷重が生じますので避けてください。

自主検査表

年 月 日

殿

工事名：_____

検査日時：_____年 _____月 _____日

検査者氏名：_____

下記の検査を自主検査を行いましたのでご報告します。

項目	検査要領	品質目標		自主検査結果
パネルの面高さ(※1)	目視で判断し、必要のある箇所を水平器・水糸などで測定する。	2mにつき 3.0mm 以下		
パネル間の段差	目視で判断し、必要のある箇所を直定規・隙間ゲージなどで測定する。	A(※2)	1.0mm 以下	
		B(※2)	2.0mm 以下	
パネルの目地の通り	目視による。	支障のないこと。		
がたつき	歩行による。	支障のないこと。		
外観	目視による。	有害な破損や汚れのないこと。		
開閉性	開閉による。	開閉・復元が容易なこと。		
汚れ	目視による。	著しい汚れのないこと。		

※1:ドア枠、ファンコイル、ボーダーコンクリート、架台のレベルに差があり床仕上げレベルを合わせる必要がある場合は除く。

※2:A はビニル床タイルの目地ずらしはり仕上げ、B はタイルカーペットの目地ずらしはり仕上げに適用する。

○上記項目、検査要領、目標品質はフリーアクセスフロア工業会の一般事務室における推奨値。

(フリーアクセスフロアの性能評価 2015.10(フリーアクセスフロア工業会規格)より引用)